

地域脱炭素フォーラム2025名古屋 名古屋商工会議所の取り組み

2025年10月18日



名古屋商工会議所
Nagoya Chamber of Commerce & Industry

1. 名古屋商工会議所の概要

- 会員数 約17,000社
- 会 頭 嶋尾 正（大同特殊鋼株式会社 相談役）
- 取り組み
 - ・ 中小企業の経営支援
 - ・ 次世代産業振興、スタートアップ・新事業の創出
 - ・ まちづくり、インフラ整備
 - ・ 観光・誘客・交流の推進
- 製造業支援
 - ・ 航空機産業、自動車産業、医療機器産業、宇宙産業、スタートアップ、素材・技術、知財活用、DX推進、環境対応

2. 環境行動計画の策定

- 生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）を控えた2009年に、「環境行動計画」（2010～2012）を初めて策定。
- 以後、2015年のパリ協定でのSDGsの提唱など、時々々の環境課題に応じた「環境行動計画」を定め、会員企業が主体的に環境活動を推進し「環境と経済の両立」を実現できるよう取り組んできた。
- 第5期活動期間（2022～2025年度）では、2030年度の温室効果ガス排出量46%削減、2050年のカーボンニュートラル（以下CN）実現に向け、会員への啓発・情報提供の一層の強化、支援体制を構築した。
- 現在、第6期活動期間（2026～2030年度）の活動計画を策定中。地球温暖化が進行する中、CNを推進すべく、引き続き、GXによる会員企業の持続的な価値の創造を目指す。

3. 会員企業への環境に関するアンケート調査（抜粋）

2025.8調査（今回調査） 2021.11調査（前回調査）の比較

OCNに多いに取り組む必要がある。

（今回） 75.1% ← （前回） 55.8%

○取り組む必要がある理由

・ 今回・前回とも割合が多かった上位3項目は同じ。

- ①企業の社会的責任（CSR）
- ②SDGs目標やESGへの対応
- ③企業イメージ・ブランド力向上

3. 会員企業への環境に関するアンケート調査（抜粋）

2025.8調査（今回調査） 2021.11調査（前回調査）の比較

○顧客・取引先・投資家等から環境に関する要請がある。

（今回） 53.6% ← （前回） 44.2%

→顧客・取引先・投資家等からの環境に関する要請の高まりとともに、自社におけるCNの取り組みの必要性を認識する企業は増えてきている。

そのような中、名古屋商工会議所では、会員のCNの意識醸成のすそ野を広げるとともに、具体的な活動につながる知識・ノウハウの習得、マッチングの機会などを創出している。

4. 2024年度の主な取り組み

①カーボンニュートラル・テック・フェア 2025

(1) 開催日：2025年1月28日(火)13:00～17:00
29日(水)10:00～17:00

(2) 会場：名古屋商工会議所 2階ホール、5階会議室

(3) 内容：CNに向けて、今後実用化が期待される
新技術をもつ企業・団体によるブース
展示及び講演会・セミナー
※名古屋市主催の「名古屋水素技術
フェア」を同時開催。

(4) 出展者：22企業・団体



4. 2024年度の主な取り組み

①カーボンニュートラル・テック・フェア2025

(5) 来場：802名

(6) 基調講演

- ・「CNに向けた最新動向と企業の取り組み」
講師：東京大学 未来ビジョン研究センター
教授 高村 ゆかり 氏（来場202名）

(7) セミナー

- ・光電融合技術、ペロブスカイト太陽電池、
水素技術等3セミナー開催。



高村 ゆかり 氏

4. 2024年度の主な取り組み

②グリーンテック・マッチング

(東京・大阪商工会議所との共催)

- ・ 大手企業の持つ環境関連のニーズ発表 (2024.9.27)
- ・ 発表後、中堅・中小企業が課題解決策を提案し、
発表企業が書類選考の上、個別面談を実施 (2025.1~2)



ニーズ発表会

開催結果															
	9/27グリーンテックマッチング会参加数					エントリー件数					面談件数				
	全体	内訳				全体	内訳				全体	内訳			
		名商	大商	東商	Web		名商	大商	東商	その他		名商	大商	東商	その他
リンナイ	169	26	43	14	86	40	24	13	3		22	14	7	1	
東京ガス						19	4	6	9		8	1	1	6	
リコー						14	3	10	1		7	1	6	0	

4. 2024年度の主な取り組み

③カーボンニュートラル・アクション・サポートデスク

(1) 目的

- ・ 2022年5月、専門機関・企業と連携し、中小企業の脱炭素に向けたアクションをサポート。
- ・ 2023年11月、あいち脱炭素経営支援プラットフォームに参画、対象を会員企業から愛知県の企業に拡大。

(2) 主な活動内容

- ・ 電話・Webで無料相談実施（相談件数19件）。
- ・ 専用HPでの情報提供
CO2チェックシート、行政の環境施策説明等



4. 2024年度の主な取り組み

③カーボンニュートラル・アクション・サポートデスク

(3) 主な無料相談内容

- ・取引先から具体的な要望はないが、CO2排出量を把握し、削減目標を設定したい。省エネ診断を受けて、活動を推進したい。
- ・自社工場の各設備の電気使用量を製品に紐づけてCO2排出量を把握、省エネ策を進めていくところ。SBT認証取得を考えたいが、取得に向けての費用、人材、継続すべき活動等について、詳細を知りたい。



4. 2024年度の主な取り組み

④水インフラにおけるCN視察会

- ・官民連携でのCNの実現を目指す「矢作川・豊川CNプロジェクト」
に関連する施設の視察会を開催（2024.12.5、参加者40名）。
- ・施設見学と併せ、プロジェクト事務局（愛知県）から、当事業等についてのCNに資する新技術・システムの開発を支援する取り組みを説明した。

